

令和5年度

福島町議会
定例会3月会議

令和6年3月8日（金）

一般質問通告書

福島町議会

令和5年度福島町議会定例会3月会議 一般質問通告書目次

番号	氏名	質問事項	頁
1	熊野 茂夫	介護事業所への支援と介護従事者の確保について	3
2	藤山 大	町内の避難路の管理状況と新たな避難路の整備は？	4
3	小鹿 昭義	青函トンネル補修工事に対する状況把握について	5
4	平沼 昌平	①石川県能登半島地震を受けて当町の防災対策は ②気候変動から来る今後の養殖コンブ業について	6

令和6年3月1日
10時05分 受領

令和6年3月1日

福島町議会議長 溝部 幸基 様

福島町議会議員 7番 熊野 茂夫

一般質問通告書

令和6年3月8日開催の令和5年度福島町議会定例会3月会議において、下記について質問したいので、福島町議会会議条例第63条第2項の規定により通告します。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
介護事業所への支援と介護従事者の確保について	<p>国の老人福祉計画・介護保険事業計画の3年毎の見直し改定に伴い、第9期福島町高齢者福祉計画・介護事業計画が策定され、この3月会議にその計画内容がしめされています。</p> <p>この中で、町民の直接負担となる介護保険料については介護給付費準備基金の活用で第8期計画の介護保険基準額5,600円の水準を維持し、第1号被保険者の所得段階別区分がこれまでの9段階から13段階へ変更され、被保険者のおよそ37%をしめる第1号～3号段階の保険料の負担軽減は町民にとって安心材料になると考えますが、人口の減少に伴い、第1号被保険者も減少、要介護認定者については令和6年度をピークにその後、減少が見込まれると推計しています。</p> <p>これまで、施設サービス事業所と訪問介護事業所の2福祉法人と民間の訪問介護事業所で当町の介護サービス事業を展開してきましたが、利用者の減少やそのニーズの変化で経常収支の悪化が懸念されていますし、施設介護員、居宅介護支援専門員（ケアマネージャー）、訪問介護員（介護ヘルパー）等介護従事者の確保も厳しい状況にあります。</p> <p>介護予防・日常生活圏域ニーズ調査（配布数900、回答数530で回答率58.9%）では65歳以上の一人暮らしが149名（28.4%）夫婦2人暮らしが231名（44.0%）と回答数のうち380名で72.4%となり、この結果からも町内事業所の継続、特に福祉法人の事業継続は当町高齢者にとって大事なライフラインの確保となり、人口減少の歯止めにもつながるものと考えます。</p> <p>介護事業所の閉鎖や、社会福祉協議会の解散等の記事が、昨今新聞紙上で目立つようになってきました。</p> <p>福祉政策のなかで介護事業所継続のための支援と、特に介護従事者確保のための施策は急がれると思いますが、町長の考えをお伺いいたします。</p>	町長



令和6年3月1日
11時04分 受領

令和6年3月1日

福島町議会議長 溝部 幸基 様

福島町議会議員 1番 藤山 大

一般質問通告書

令和6年3月8日開催の令和5年度福島町議会定例会3月会議において、下記について質問したいので、福島町議会会議条例第63条第2項の規定により通告します。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
町内の避難路の管理状況と新たな避難路の整備は？	<p>今年1月1日に石川県能登半島をマグニチュード7.6の大地震が襲い、珠洲市を中心に甚大な被害が発生しました。日本海溝・千島海溝巨大地震など、いつ起きるかわからない災害に備えて、現在の避難路を適切に管理しておくとともに、沿岸地区への新たな避難路の整備、夜間避難を想定した誘導灯の設置、停電等を考慮し太陽光等の自然エネルギーを活用した電源の確保等について早急に検討、整備する必要があると考えます。</p> <p>先般開催した町民と議員との懇談会では避難路の管理、整備、足腰の弱い方や体力的に自力で避難路へ行くことができない方への対応を求める意見が多く有りました。町民が地震、災害に対して危機感や不安を抱いている中、生命を守る対策の実現が最重要課題と考えます。</p> <p>避難路の整備について、町長および教育長に伺います。</p> <p>町長</p> <ul style="list-style-type: none">①避難路の管理状況は（草刈り、補修、冬季対応、獣対策）②一人では動けない方の避難対策は③新たな避難路の整備（特に海岸沿い地区）④日本海溝・千島海溝巨大地震での津波を防ぐブロックの設置は <p>教育長</p> <ul style="list-style-type: none">① 幼稚園、小学校、中学校、高校の避難訓練実施状況、避難経路は（火災、地震）	町長 教育長



令和6年3月1日
11時33分 受領

令和6年3月1日

福島町議会議長 溝部 幸基 様

福島町議会議員 4番 小鹿 昭義

一般質問通告書

令和6年3月8日開催の令和5年度福島町議会定例会3月会議において、下記について質問したいので、福島町議会会議条例第63条第2項の規定により通告します。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
青函トンネル補修工事の状況把握について	<p>第二青函トンネルの実現を目指して、町長を中心に活動を展開しておりますが、トンネル工事に従事した方をはじめ多くの町民から「開通から35年以上過ぎた中で維持補修も大変だろう。」「補修工事関係作業員が相当数入っているようだ」等の声を聞いております。</p> <p>今や、青函トンネルは、新幹線・貨物列車ばかりではなく、通信ケーブル・送電線設備など、活用は多岐にわたり重要な役割を担っており、支障が無いよう維持補修を徹底しなければなりません。</p> <p>青函トンネルに携わる工事関係者の当町に及ぼす経済効果も大きく、「第二青函トンネル実現」の気運を盛り上げる活動に連動させる観点からも、現状をしっかりと把握しておくべきと考えております。</p> <p>鉄道建設・運輸施設整備支援機構（JRTT）が保有し、北海道旅客鉄道（JR 北海道）が管理・列車運行を行なっている青函隧道（通称・青函トンネル：1988年3月13日開通）の現状、維持補修状況などについて、当町ではどのような情報を共有されているかお伺いいたします。</p>	町長



令和6年3月1日

14時00分 受領

令和6年3月1日

福島町議会議長 溝部 幸基 様

福島町議会議員 5番 平沼 昌平

一般質問通告書

令和6年3月8日開催の令和5年度福島町議会定例会3月会議において、下記について質問したいので、福島町議会会議条例第63条第2項の規定により通告します。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
石川県能登半島地震を受けて当町の防災対策は	<p>災害は、時と場所を選ばず、いついかなる時でも起こりうる事を思い知らされた。2024年の年明けの地震であった。</p> <p>災害に遭われ亡くなられた方、またこの度の地震により関連死された方々には心よりお悔やみを申し上げると共に家屋倒壊やケガをされた関係者の皆様にはお見舞いを申し上げます。</p> <p>さて、この度の地震災害に於いては様々な面で2011年3月11日の東日本大震災を思い出されてしまった町民の方々も多かったと思います。家屋の倒壊、地盤の液状化、市街地の火災、津波、山間部の土砂崩れ、水道の断水、電力の停電など13年前の日本観測史上最大規模の地震と同等と思われませんが、港などの海岸線の隆起など、違った様子も見られました。</p> <p>この度の地震を教訓に当町として今後、日本海溝・千島海溝周辺地震に対してどの様な防災対策をすべきと受け止めたのかお聞きしたい。また、避難された方々に対しての一時避難所の状況はテレビ等で見る限り13年前と類似した点も多くみられました。その一時避難所のプライバシー保護と避難町民の体調維持の方策など、もう少し工夫できないものかとも考えましたが当町としてどの様な対応を今後すべきか考えを伺いたい。</p> <p>さらに災害に対する施設整備は確かに必要で大事ですが、一方で過大な施設整備投資は、「誉は毀りの基」と言われるようになり兼ねない中、今一度、自助・共助・公助の役目とあり方について、町民と確認し合う必要性があると感じますが、考えを伺いたい。</p>	町 長



令和6年3月1日
14時00分 受領

令和6年3月1日

福島町議会議長 溝部 幸基 様

福島町議会議員 5番 平沼 昌平

一般質問通告書

令和6年3月8日開催の令和5年度福島町議会定例会3月会議において、下記について質問したいので、福島町議会会議条例第63条第2項の規定により通告します。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
気候変動から来る今後の養殖コンブ業について	<p>異常気象は、世界各地に於いて陸と海の異変を引き起こし年々影響が大きくなっております。全国的な影響、北海道における今年の冬の積雪量を見れば否応なく異常気象を強く感じざるをえません。</p> <p>昨年末に北海道新聞の特集記事の中に気候異変 第一部・『昆布だしがなくなる日』の記事を読ませて頂き、当町の養殖コンブ事業に対して強い危機感を抱いた関係者も多くいたと推察しております。特集記事では、気候異変の点について、日本の「^{だし}出汁文化」に欠かせない天然コンブの現状と未来像を取り上げ、養殖コンブに於いても海水温上昇の影響と思われる要因から様々な弊害が発生し、収穫時期・作業効率にも大きく影響が出だしていることを指摘しておりました。</p> <p>天然真昆布の日本海側の生育地の南限は現在、津軽半島北部の権現崎^{ごんげんざき}まで迫っているといわれており、天然真昆布が減少する中、安定した生産を支えるのが養殖コンブですが、海水温上昇はその養殖昆布にも影響が出ているのではないかと心配しております。長い歴史から見ても世界的な気候変動と海水温上昇は急激に改善することはなく、簡単に改善されるものではありません。</p> <p>いま当町は種苗施設も完成し安定生産を進めるにあたって、陸上での養殖・海水温にあった海上での新たな養殖産品を見出す事も必要と考えるがお考えを伺いたい。</p>	町 長

